

第1章

企業内で生かす 中小企業診断士の知見



柴山 賢二

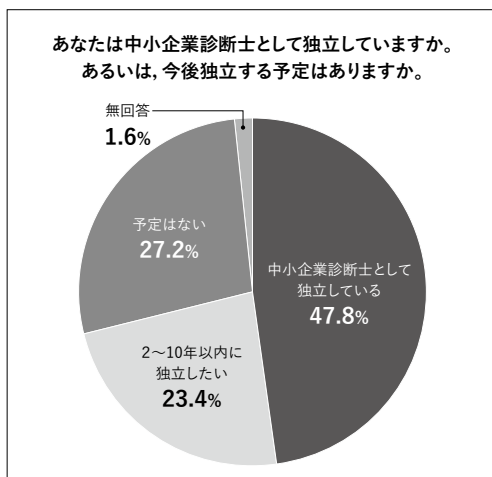
愛知県中小企業診断士協会

1. 独立を予定していない肯定的な理由

2020年に会員中小企業診断士を対象に行われた調査によれば、将来的に「独立する予定はない」と回答した者の割合は27.2%であり、すでに独立済みの者、いずれ独立したいと考えている者の合計より少ない（図表）。

独立を予定していない理由（複数回答可）では、収入面などの不安要素を挙げる者がいる一方で、「現在の仕事の内容や職場環境に満足しているから」と回答する者が44.9%に及ぶ。この方たちは企業内診断士という在り方を積極的に選んでいるといえるだろう。

図表 独立についての意向



出所：一般社団法人中小企業診断協会「中小企業診断士活動状況アンケート調査」結果について（2021年）をもとに筆者作成

2. 重要な業務を担う企業内診断士たち

本特集において取材した4名の中小企業診断士も、企業内の活動で資格を生かすために中小企業診断士となった方たちである。

役員として経営を担うべく大手メーカーから転職した人、マネジメントやマーケティングについて体系的な知識を学ぶ必要性を感じた人など、その背景はさまざまであるが、いずれも現在の勤務先にて重要な業務を担っている点では共通している。

本特集では、彼らが時に迷いながらも問題解決のために奮闘してきた姿を取材した。合格したものの今後の活動について迷っている方たちにとってのヒントになれば幸いである。

柴山 賢二

（しばやま けんじ）

大学卒業後、分譲住宅会社の広告担当を経て、不動産・住宅を専門に扱う広告代理店に転職。Web媒体などの広告実務を経験。2023年中小企業診断士登録。2024年8月に独立。

